

＜サポートメンバー特別特典＞

//////////////////////////////

思い描いた領域に最短最速で向かうための 未来の決め方講座

//////////////////////////////

こんにちは。サポートメンバーの大野です。

本日は、I.G.Uメンバーのために用意した特別な特典、「サポートメンバースペシャル特典」をお届けします。

私からお渡しするのは、以前松岡先生との対談動画で触れたことのある
【未来を決める】についての内容です。

これまでに全60回のお役立ち音声の配信と、計2回のI.G.U勉強会が行
われ、大野自身もメンバーアウトプットや交流チャット等を通してメン
バーの頑張りを拝見しております(^^)

平井さんの行動プランニングに続き、松岡先生のレター調律もついに解
禁となり、これをきっかけに飛躍するメンバーが出てくる未来を思い描
いてワクワクです！

一方で、頑張って自分のお尻を叩きながらも、ちょっと息切れしている
メンバーのことが気がかりで、ほんの少し心配もしています。

毎日コツコツと取り組みながらも、

どうしても悩みが先立って集中できない、、、

なんてメンバーがいたとしても自然なこと。

私自身、マスターズの期間中、何もできない時期があったり、ギルド所属以降も半年くらい動けなかった時もあります。

先が見えなくて苦しく、今やっていることに自信が持てず、見当違いのことをしていないかとても不安でした。

ですが、結果今大野はここにいて、振り返ってみれば、「あの時間は自分にとって必要だったなあ」と思えています。

今が苦しいメンバーも、今このレポートを読めているから大丈夫です。取り組めていることに自信を持って進んでいきましょうね(^^)

さて、今日は、今あなたがどのような状況にあったとしても、何をしたら良いかわからなくなっていたとしても、

「あっ、これをすればいいのか！なーんだ！」

とパッと視界が明るくなるようなお話をご用意したので、ぜひ楽しみながらお読み頂けたら嬉しいです(^^)

地道に教材を確認し、日々小さな取り組みを積み上げてきたあなたであれば大丈夫。

今日お伝えする内容をご確認いただければ、行動が最適化され、学んだ知識の点が線となり、必ずや成果につながります。

個人的には、経験した苦しみや痛みが多ければ多いほど得られる対価が大きくなると信じているので、今を真っ直ぐ進んでいきましょう！

本日大野がお届けする【未来を決める】についてですが、以前松岡先生との対談動画でほんのりお伝えしたことのある内容の詳細です。

対談動画をご覧いただいたことのないメンバーのために補足すると、大野は稼げるようになる前から、

「松岡先生の隣に行く」

「会う機会があったら全部行く」

など、

自分の将来の行動を予め【決める】

ということを徹底していて、事前に決めてしまうことで他の選択肢を潰し、一つ一つ確実に遂行することで今の場所まで辿り着きました。

例えば「松岡先生に会いに行く」であれば、【決めた】途端に「会いに行かない」選択肢が全て消滅し、大野の脳は「会いに行く方法」だけを計算して最適なルートを叩き出す、完全可能思考のコンピューターのように機能してきました。



このようにお伝えすると小難しく感じる方もいるかもしれません、やっていることはシンプルに【決める】ことだけ！

「ええー、、、そんな決めるだけで
未来が思い通りになるなら苦労しませんよ、、、」

なんて声が聞こえてきそうですが、【未来を決める】方法は、正しく使えば驚くほどの力を発揮します。

今でこそサポートメンバーとして関わっている大野ですが、元々は2期生で、未経験でマスターズに入り、商品作成に取り掛かったのはマスターズ開講から8ヶ月目。

ゼロイチ達成は確か開講から2年近く経ったころだったと思います。

そんな大野が今ここにいるのは、

一貫して未来を事前に【決める】ことにこだわり、
自分の未来を予め確定させることで
「これ以外の未来は受け入れない」と思い込んできたからです。

これから大野が大切にしているイメージを共有するので、

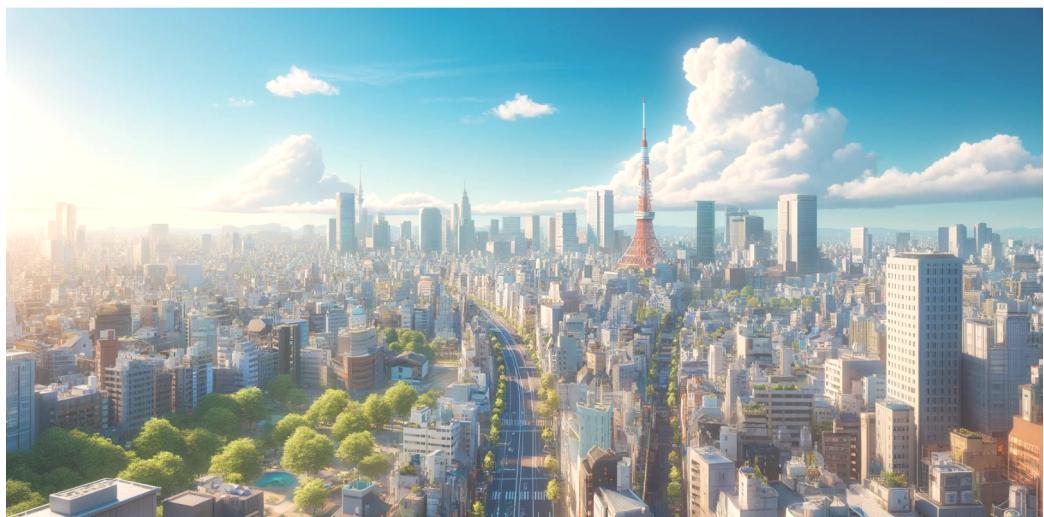
【未来を決める】技術を使うとどんなことが現実に起きるのか？
今のあなたの現状が、どのように変化するのか？

楽しみながら一緒にイメージトレーニングをしてみましょう！

•
•
•

さて、ちょっと想像してみてください。

あなたは今、「未来の自分」を見に行っています。



あなたが眼下に見下ろすのは、「最高の未来」を生きている自分の姿です。

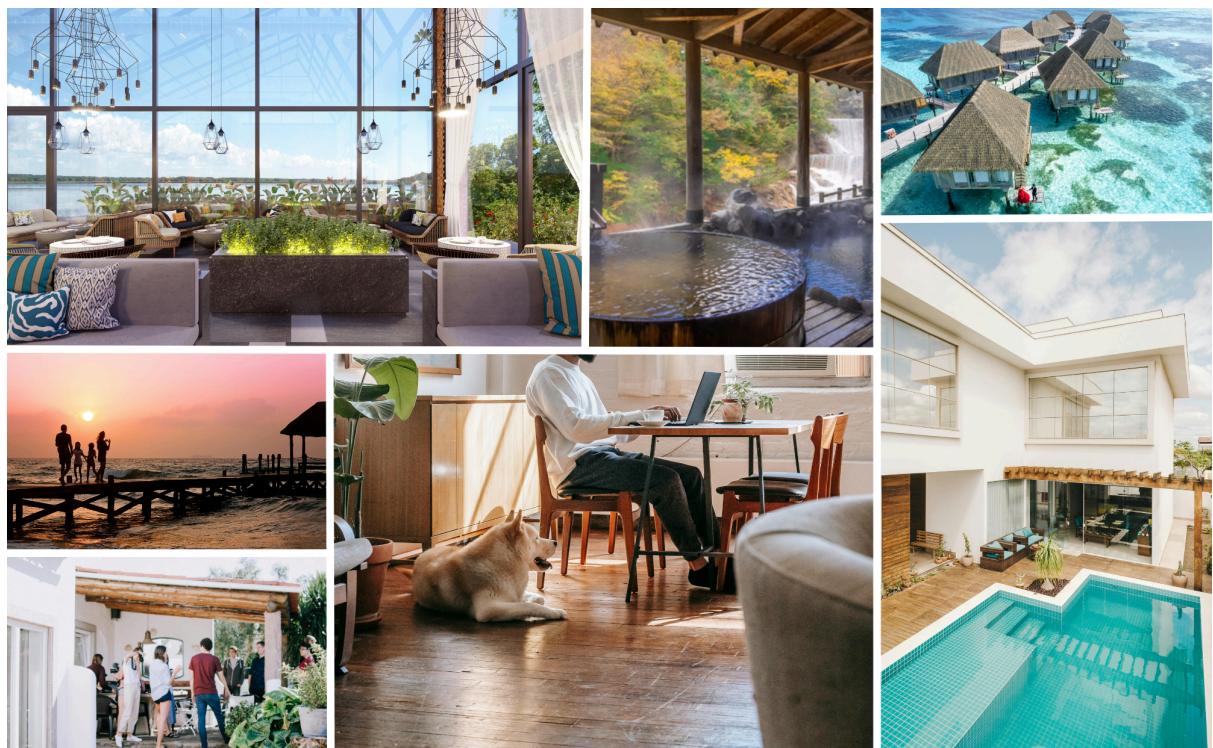
豪邸に住んで家族と笑い合っている自分。

会社勤めやパート勤務から解放されて、自由に仕事をしている自分。

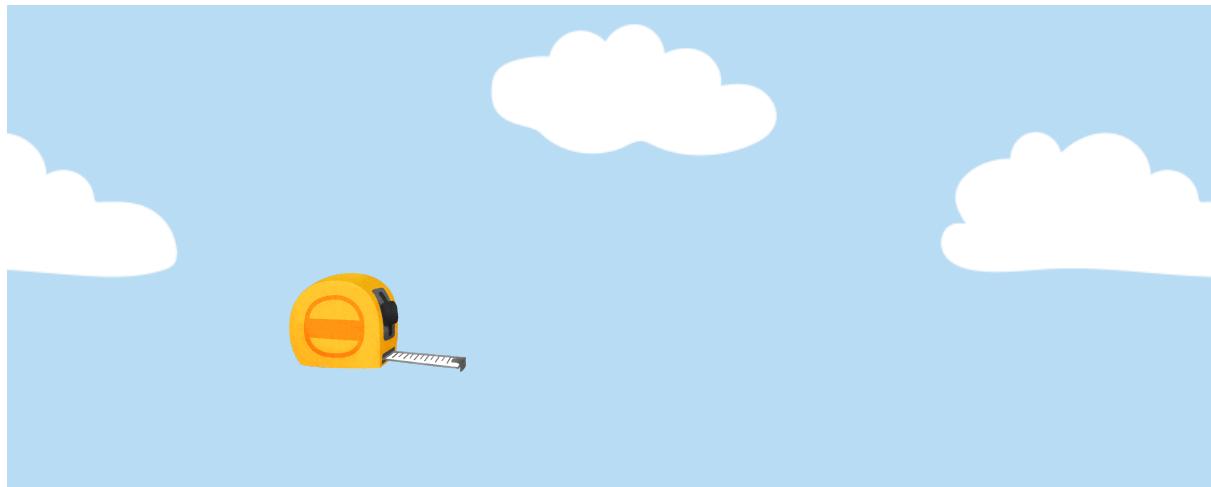
会いたい時に会いたい人に会っている自分。

大切な人にプレゼントをして喜ぶ顔を眺めている自分。

好きな時に好きな場所で過ごしている自分。



「おおー！すごい、本当に叶ったんだな！」なんて高揚感を感じながら未来の自分を眺めていると、ふと視線の先、理想の自分の近くにメジャーが浮いているのを見つけます。



(長さを測る、目盛りがついたあのメジャーです。)

目を凝らしてそれがメジャーだと認識すると、「なぜこんなところにメジャーが？」と思いながらも、何となしに手を伸ばし、宙に浮いたメジャーを掴みます。

ところが、メジャーはびくともせず、宙に固定されて動きません。

「なんだこれ」と思いながらメジャーをまじまじと観察し、ふと先端の金具に手をかけて引き出すと、、、

「あっ、引っ張れる！」

メジャーが引き出せることに気づいたあなたは、力のままにビーッと引っ張り、

「どこまで伸びるんだろう？」

と空中を後ろへ後ろへと下がっていきます。

メジャーはどんどん伸び、あなたはどんどん下がり、、、

未来の自分の姿は次第に小さくなり、豆粒のようになり、雲に隠れて見えなくなりました。

「あれ？」

ふと気づくと、あなたはいつもの場所に座っていて、握りしめた拳にはメジャーの先端が。メジャーの先は霧に吸い込まれるようにどこかに続いている、ぼやけて見えません。



あなたは戸惑い握った手を開こうとしますが、すっかり力が入ってしまった手は、グーの形で固まっています。

「どうしよう、、、」

途方に暮れて困っていると、突然頭の中で「カチッ」と音が聞こえ、その瞬間！

ビ—————

メジャーが巻き取られる音と共に、メジャーを掴んだあなたの腕は急激な力で何かに引っ張られ、ものすごい勢いで体ごと宙に浮きました。

目も開けられず、肩が外れそうな勢いで引っ張られていくあなた。

向かっている先は、、、

そう、あなたの未来です。

あなたは理想の未来に行き、そこにあったメジャーの先端を引き出して、ガシッと掴んで今の時点までよいしょよいしょと引っ張ってきました。

今、体の力を抜けばメジャーは巻き取られ、あなたは一切の寄り道をすることなく、瞬く間に理想の未来へ到着です。

信じられないかもしれません、私がお伝えする「未来を決める」方法は、

メジャーが巻き取られる力に任せて 未来まで飛んでいく

という嘘のような現象を、現実に起こす方法です。

メジャーが一直線に本体に回収されるように、たった一つの思い描いた未来へと、真っ直ぐに自分を連れていくことができる。

これからお伝えする内容を使いこなすと、

- ・欲しいものを手に入れることも
- ・なりたい自分になることも

- ・憧れの生活を送ることも
- ・好きな人に囲まれて暮らすことも
- ・思い描いた通りの理想の現実を手に入れることも

当たり前に叶えることができるようになります。



理解できるととても簡単な方法なのですが、知っている人はほとんどいません（大野もかつては理解できませんでした）。

大野も「今」に視点が固定されて「未来」の見方が分からなかった時は、苦しくて毎日がとても不安でしたが、【未来を決める】ことで視点の移動ができるようになると、目の前の悩みが気にならなくなって思考がクリアになりました。

未来からの逆算で「必要なこと」と「不要なこと」の取捨選択が迷いなくでき、全ての選択を、

成功した未来の自分が代わりに決めてくれている

かのような安心感。

その領域まで行けると、日々の行動から迷いがなくなり、不安が消え、未来への期待とワクワクで胸が満たされます。

結局、楽しめる人が強いのです。

もしあなたが、

「一生懸命音声を確認しているけど、
結局何をしたらいいのかわからないんです、、、」
「やる気はあるのに、いざ机に向かうと思考停止してしまうんです」
「実践したものの思うような成果が出ていなくて不安です」

なんて悩んでいるのだとしたら、

未来を決めることで視界は開けます。

手探りで進まなくとも、確定した未来から引っ張られるように目的地まで飛んでいけるので、

「あれ？ 何に悩んでいたんだろう？」
「次にやることがびっくりするぐらい見えてきた！」
「心がワクワクして脳と手が追いつかない！ 時間が足りない！」

なんてチート状態を体験していただけるはずです(^^)

大切なのは、

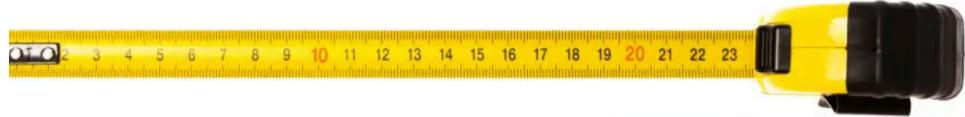
メジャーを未来から現在地まで引っ張ってきて、
掴んだまま巻き取る力に任せて飛んでいく

というイメージを脳に刻みつけること。

こういった手法は、イメージトレーニングを繰り返して脳に準備体操をさせておくことが大切で、リアルに想像できた人ほど使いこなした時のパワーが強力です。

メジャーに掴まり未来にかゝ飛んでいく自分の姿を、何度も何度も想像してみてくださいね(^^)

ちなみに、なぜメジャーなのかといえば、メジャーはピンと固く直線的で、一度巻き取り始めたら最後まで巻き取り続けます。



その勢いは、気をつけなければ指を切って怪我してしまうほど。

例え途中引っかかっても、引っ掛かりさえ外してやれば再びすごい勢いで巻き取り続け、ゴムと違って伸び縮みすることも切れることもありません。

この感覚が掴めたら、あとは「理想の未来」を絞り【決める】だけ。

理想の未来を「そこにいるかのように」思い描くことはすぐには難しいものですが、これからコツをお伝えしていくので、一緒に考えていきましょう！

さて、早速理想の未来を絞っていきたいのですが、その前に質問です。

1. あなたがインフォマスターZに参加した目的は何でしたか？
2. 松岡先生でなくてはいけない理由は何でしたか？

「えっ！そんな突然聞かれても、、、！」
「またいきなり話が変わりましたね！」

なんて戸惑いの声が聞こえてきそうですが、少し時間をとって当時を思い返してみてください。

この二つの質問は、「あなたが何を望んでいるのか？」「なぜなかなか叶わないのか？」を知るための重要なヒントになります。

大野の例をお伝えすると、私が松岡先生と出会ったのは、遡ること4年前。何年もノウハウコレクターを続けて、最早どうしたらいいのかわからなくなっていた頃でした。

年末年始で実家に帰るために急いでいた私は、帰省前に確認しようと開けたポストに1通の黒い封筒を見つけます。インフォトップだしよくあるDMかな、と捨てようとしたのですが、ふと思い直して封筒を難に破り開けました。

今もぼんやり覚えているのは、丸で囲まれた変なアバターの顔。一体誰からの、どんな手紙だったのかは覚えていません。爆



とにかく急いでいた私は、「何だこのアバター」と思いながらもLINEのQRコードを読み込み、中身を読まずに手紙をポイと捨てて家を出ました。

そんなことも忘れていた数日後。実家で寝る前にふと見たLINEに届いていた新着メッセージの差出人は、松岡将吾。

そう、我らが松岡先生です。笑

それが、私の松岡先生との出会いでした。

今こうして共に歩んでくださっているあなたも、きっと私と同じように特別講義をきっかけに松岡先生と出会い、そのお人柄や講義内容に惹かれて今ここにいらっしゃるのではないかでしょうか。

当時私は、漠然と「会社員以外の方法で会社員以上の収入を得たい」と考えていて、その方法を模索していました。そんな中で偶然出会った松岡先生の動画を見て、「この人だ！」「この人の所に行こう！」と思ってインフォマスターズに入りました。

実は、特別講義の受講時は、私は松岡先生が本当に「年間6億以上も稼いでいるプロモーター」だと本気で信じることができず、それどころか、講義内容も「うまいこと見せているだけで半分は誇張した内容だろう」とすら考えていました。

その上私は情報販売ビジネスに詐欺的だという偏見を持っていて、穿ったものの見方で斜め上から眺めていました。

ただ、そんなマインドだった私から見ても、松岡先生は異色でした。

まず、言葉の選び方や言い回し（あまりにも秀逸なので、私は当時先生を年上に違いないと断定し、50歳くらいだと思っていました笑）。そして、ほとんどの商材販売者が絶対に口にしない真実、

『あなたは仕掛けられているんですよ。
まず仕掛けられていることに気づいてください。
そして、仕掛ける側の視点で私の講義を見てください。』

という視点を示されたことに、相当なショックと衝撃を受けたのです。

これはノウハウコレクターの方ほど共感していただけると思うのですが、松岡先生の講義は本当に異色の内容でした。

そんな先生の姿に引き込まれ、大野は「いくら仕掛けられてもこの人の話には乗ろう」「今後喜んで仕掛けられるのはこの人だけにしよう」「私もあちらに行こう」と決めたのです。

そして、対談動画でお話しした内容、「松岡先生の隣に行く」を決めるに至ります。

結果として私は長年のノウハウコレクターから脱却し、今の地点に辿り着きました。

あなたはどうでしょうか？

1. インフォマスターズに参加した目的は何でしたか？
2. 松岡先生でなくてはいけない理由は何でしたか？

根底には、「単に稼ぎたいから」という動機があつて特別講義に触れたのだと思いますが、実際に特別講義の先のインフォマスターズに進んだからには、そこには【参加した目的】や【先生でなくてはいけない理由】があったはず。

ぜひ、ペンとノートを用意して書き出してみてください。

· · · · ·
· · · · ·
· · · · ·
· · · · ·
· · · · ·

書けたでしょうか？

一点注意してもらいたいのは、決してきれいにまとめたり耳障りの良い言葉を並べるのではなく、私がお伝えしたように赤裸々に、その当時のあなたが感じていた思いを偽りなく書き出すこと。

何かを望む感情や思いは一つの言葉に集約できるような単純なものではないので、思いつくままに書きなぐってみてください。

それはもしかしたら、

「初心者でも始められるビジネスを学びたくて、
松岡先生なら優しく教えてくれそうだと思ったから」

といった内容かもしれませんし、

「始めは興味本位だったけれど、
とにかくこの人についていきたいと思わされたから」

かもしれません。

当時を思い返しながら、思いつく限りいくつもいくつも書き出してみてくださいね。

- ・プロモーターという職業に惹かれた
- ・松岡先生と話してみたいと思った
- ・ワクワクして高揚感を感じて楽しかった
- ・私でもできるかも！と未来に希望を持てた
- ・もう一発大きなことを成し遂げたいと思った
- ・熱い気持ちを思い出した
- ・子どもや孫、パートナーに背中を見せたいと思った
- ・仲間や家族を見返したかった 等

何でも構いません。思いつくだけ、自分に正直に書き出しましょう。

実は、目的や願い、理想と呼ばれるものは、
決め方を一つ間違えると
思ってもみない未来に向かってしまいます。

ここでちょっとしたワークをお伝えするので、ぜひ取り組んでみてください。

先ほどの質問で出てきた内容を、手順に沿って言い換えていきます。

//////////
STEP. 1 目的を「私の理想の未来は○○です」の形に置き換える
//////////

例：

- ・初心者でも始められるビジネスを学びたくて、松岡先生なら優しく教えてくれそうだと思った
→「私の理想の未来は【初心者でも始められるビジネスを松岡先生に優しく教えてもらうこと】です」
- ・始めは興味本位だったけれど、とにかくこの人についていきたいと思わされた
→「私の理想の未来は【松岡先生についていっている状態】です」
- ・プロモーターという職業に惹かれた
→「私の理想の未来は【プロモーターになること】です」
- ・松岡先生と話してみたいと思った
→「私の理想の未来は【松岡先生と話している自分】です」

・私でもできるかも！と未来に希望を持てた
→「私の理想の未来は【私にもできる！と未来に希望を抱いている状態】です」

・松岡先生の隣に行きたいと感じた
→「私の理想の未来は【松岡先生の隣に行くこと】です」

言い換えてみると、このような形になります。

続けて、これらの望みが、「叶っているか（叶えられるか）」「叶っていないか（叶えられないか）」を見ていきましょう。

//////////

STEP.2 「叶っているか」「叶っていないか」を見る

//////////

例：

・初心者でも始められるビジネスを学びたくて、松岡先生なら優しく教えてくれそうだと思った

→「私の理想の未来は【初心者でも始められるビジネスを松岡先生に優しく教えてもらうこと】です」

⇒マスターズ参加時点で「松岡先生に初心者でも始められるビジネスを優しく教えてもらう未来」が叶っている

・始めは興味本位だったけれど、とにかくこの人についていきたいと思わされた

→「私の理想の未来は【松岡先生についていっている状態】です」

⇒マスターズ参加時点で「松岡先生についていく」という夢が叶っている

- ・プロモーターという職業に惹かれた
→「私の理想の未来は【プロモーターになること】です」
⇒プロモーターを名乗ればいつでも叶ってしまう

- ・松岡先生と話してみたいと思った
→「私の理想の未来は【松岡先生と話している自分】です」
⇒勉強会に参加して話しかけた時点で叶えられる

- ・私でもできるかも！と未来に希望を持てた
→「私の理想の未来は【私にもできる！と未来に希望を抱いている状態】です」
⇒希望を抱いている状態が理想なので願いが叶っている。失敗すると希望が失われるので無意識にチャレンジを拒む

- ・松岡先生の隣に行きたいと感じた
→「私の理想の未来は【松岡先生の隣に行くこと】です」
⇒「隣に行く」が意味するところによるが、能力や立場を意味する場合叶っていない

となりました。

最後に、それぞれの目的に「経済的な豊かさ」が必要かどうかを見てみましょう。

//////////
STEP.3 手に入れるために「経済的な豊かさ」が必要かどうかを見る
//////////

例：

「私の理想の未来は【初心者でも始められるビジネスを松岡先生に優しく教えてもらうこと】です」

【初心者でも始められるビジネスを松岡先生に優しく教えてもらうこと】という理想は、教えてもらっている状態を望んでいるので、その状態が持続します。圧倒的な経済的豊かさは必要ありません。

「私の理想の未来は【松岡先生についていっている状態】です」

【松岡先生についていっている状態】という理想は、ついていっている状態が望みなので、脳はその関係性が変わることを嫌がります。圧倒的な経済的豊かさは必要ありません。

「私の理想の未来は【プロモーターになること】です」

【プロモーターになる】という理想は、あなたがプロモーターを名乗った瞬間に達成され、並外れた成果をあげているどうかは関係ありません。

「私の理想の未来は【松岡先生と話している自分】です」

【松岡先生と話す】という理想は、勉強会に参加すれば達成されます。圧倒的な経済的豊かさは必要ありません。

「私の理想の未来は【私にもできる！と未来に希望を抱いている状態】です」

【ワクワクして高揚感を感じることをしている】という理想は、実はマスターズやI.G.Uに所属して学んだり、夢を追いかけることで得られていて、もっといえば、夢が叶った瞬間や挫折することでワクワクを失うリスクがあるので、脳はチャレンジを拒みます。圧倒的な経済的豊かさは必要ありません。

「私の理想の未来は【松岡先生の隣に行くこと】です」

【松岡先生の隣に行くこと】が立場や能力的な意味合いを持ち、長期的なものであれば、経済的豊かさが必要になります。

-
-
-

さあ、どうでしょうか。

あなたの願いの中には、

- ・それ以外考えられないほど強く願っていて
- ・現時点でまったく叶っておらず（少しも満たされておらず）
- ・叶えるために経済的な豊かさや成果が必要なもの

はいくつありましたか？

実は、

表面上は「お金」を求めていても、
人が求める理想の多くは「圧倒的な経済的な豊かさ」と密接に結びついていないものがほとんどです。

そこに「桁外れの資本が絶対に必要」である必然性がなければ、お金は必要最低限の規模でしかあなたのもとにやってきません。

そればかりか、

全ての条件に必然性がない願いは、
望んだ（と思い込んでいる）のとは
ちょっとズレた形で代替されて返ってきます。

例に挙げたような精神的な願いであれば、ともすれば「取り組んでいる」という事実そのもの」や「所属欲求が満たされている感じ」などで代替補完されてしまったり、物質的な願いであればもっと大胆な代替現象が起こります。

私はこの事実に気づいた時ギョッとしたのですが、
あなたの願いは、理想の未来は、大丈夫でしょうか？

気づかぬうちに、思わぬ形で補完されていませんか？

お役立ち音声の中で松岡先生が、

「いまのあなたを取り巻く世界は、
あなたの日々の行動選択によって作られていて、
すべてあなたの思考が思い描いたとおりに実現している。」

ということを一貫して伝えられていて、これは私がとても大切にしている教えの一つなのですが、懸命に学んでいるメンバーの中にはもしかしたら、

「私は今の現実を望んだ覚えはないんだけどな...」
「自分だけの理想の未来ってなんだろう...」
「だんだんよくわからなくなってきたな...」
「私そんなに稼ぎたいわけじゃないのかな」

なんて悩んでしまっている方もいるかもしれません。

かくいう大野がまさにこのようなことで悩んでいたのですが、世の中のほとんどの人は思考の使いこなし方と未来の決め方のコツを知らないので、

願ったのとは異なる（ように感じている）

現実に辿り着く（引っ張り寄せる）ことになります。

例えば「子どもに苦労させたくないからお金が欲しい」と思っていると、お金をすっ飛ばして誰かからお下がりやプレゼントが届いたり、「ダイソンの掃除機が欲しいからお金が欲しい」と思っていると、実家から「掃除機買い替えたんだけどいる？」なんて声がかかったりします。

WHY?



メーカーも、「ダイソンである必然性」を据えておかないと、「これもいいよ」と言わんばかりに他メーカーの掃除機で補完されます。

このような代替案での補完現象はこの世のあらゆる場面で発生していて、

**生活が苦しいのになんだかんだで食べていいける
欲しいけどなくても困らない（代替品で一時補完されている）**

といった状況もこうして発生している場合が少なくないと、個人的には感じています。

これが、多くの人が「経済的豊かさ」や「時間的自由」を望みながらもなかなか手に入れられないカラクリで、世界は「こっちにしておけば?」「これでもいいでしょー」と言わんばかりに、より簡単で達成しやすい満たし方を提案してくるのです。

それらの誘惑を振り切って最善最良の形で望みを叶えるためには、「これ以外受け入れない」という強い思いが必要です。

その上で、

//////////

この世界では、強く望んだ根源的な願いが
「どうしてもお金でしか手に入れられないもの」もしくは
「お金がある状態でしか維持できないもの」でない限り、
より実現確率の高い、もっと簡単な方法に代替されて現実に現れる

//////////

ということを理解して、「理想の未来」を設定する必要があります。

世の成功者が「強く思え」「思えば叶う」などと言っているのを、昔は「そんな単純な」と思っていた時期もありますが、今は個人的にこれは真理を突いていると思っています。

ただ、「考え方」や「思う内容」にコツと鍛錬が必要なのです。

ここだけの話、大野は現在の領域に辿り着くまでずっと、

「このまま悩み抜いたら哲学者にでもなってしまいそう...、
こんな毎日考えてばかりでいいのかな？」

「何か具体的に手を動かして作業していないと不安だな...、
バイトにでも行った方が早いんじゃないかな...」

「この状態で稼げるようになるのかな？
自分がするべき具体的な行動がわからない...」

なんて思いに苛まれては立ち止まっていました。

悩めば悩むほど頭も手も止まり、結局のところ今私は何をしたいんだろう...、と自分でもよくわからないところまで悩む始末。

事実、マスターズ開講から8ヶ月間時点で何一つ具体的な実践はできていなくて、唯一これだけは！と頑張っていたアウトプットも、曼陀羅64項目で挫折。



そんな中で、「私は松岡先生の隣に行く」という決意だけがぼんやり残っていることに気づいたのが、開講8ヶ月目くらいでした。

結論的には、当時の私が抱えていた根源的な願いは、実は「稼ぐこと」よりも一段二段深いところにあって、だからなかなか「稼ぐ」ための行動はできなかったわけなのですが、このことに気づくまでには随分時間がかかりました。

根源的な願いが「稼ぐこと」ではなく「他にある」と気づき、照準を合わせる目的や行動を変更した。

大野の例でいえば、自分の目的が「稼ぐこと」ではなく、「自分がハッとするような知識を与えてくれる人と繋がり、その人と近しい村（環境）に身を置くこと（そして、そういった知識を持っている人は富裕層であることが多い）」の方にあると認識した時、初めて大きく流れが変わったように思います。

突然自分のるべきことや辿るべきルートが全部見えて、これまでどうしても取り組めなかつたことすら、自然と向き合えるようになったのです。

漫然と「やらなくちゃ」と思っていたことが、「絶対に必要なもの（必然性があるミッション）」に格上げされ、「あっ、これをやろう、次はこれだ」と意欲的に取り組めるようになりました。

そこから私がどのように動いていったのかをこっそりお伝えすると、

- ・目的を「稼ぐこと」から「望む環境に身を置くこと」に切り替え
- ・どうすればそこに行けるかを考え
- ・マスターズの内容を実践することは必須事項だと定め
- ・一人では寝てしまう自分が強制的に実践できる環境に身を置き
- ・パートナーに組んでもらうことで動かざるを得ない状態を作り
- ・自分の過去の成功パターンを掘り起こし
- ・自分の特性的な強みを最大限活用する形のアクションを取りながら
- ・自分が過去に理想を手に入れたときの共通条件が揃うのを待って

チャンスを掴みました。

行動だけを見ればただ「マスターズやI.G.Uの内容を実践しただけ」に見えるのですが、動機と必然性が全然異なります。

事実、突然すべての行動に必然性が生まれて「動くこと」が苦ではなくなり、無駄（かもしれない悩むこと）もなくなりました。

**短期的には苦痛を伴っても、
なぜかわからないけど行動できる。**

例えやりたくないとしても、そこに必然性があれば「環境」の方を「行動せざるを得ない状況」に作り変えてしまう。

この感覚は、今聞き返してみると「松岡先生がお役立ち音声で言っていることじゃん！」となっているのですが（爆）、経験してからでないとかなか実感を得にくいのかもしれません（ごめんなさい）。

こうして改めて言語化するとちょっと狂気的ですらあるのですが、私の思考が変化したきっかけは松岡先生で、それはつまり、

**私と同じ環境（I.G.U）にいるあなたも、
「未来の決め方」一つで
大野と同じかそれ以上の成功を掴むことができる**

ということ。

そして、私たちの共通目標である「経済的豊かさ」と「時間的自由」を手に入れるために、

あなたの「理想の未来」や「根源的な望み」を見つけたら、

「圧倒的な経済的豊かさ」なくしては手に入らない形に故意に調整してみてもらいたいのです。

というのも、世の中には色々な人がいますが、お金が本質的に道具でしかない以上、大野は「稼ぐこと」や「お金を得ること」を根源的望みとして行動できる人は決して多くないと考えています。

稀に、「小さな頃からお金の匂いが大好き！」とか、「肌身離さず札束を持ってみたい！」なんて人もいますが、あなたがこういったタイプでない限り、「経済的豊かさ」だけを目的に圧倒的成果を得ることはほぼ不可能だと考えてください。

あなたが「お金」を見ているうちは「小金」は手に入っても「大金」は手に入らないと考えた方が賢明です。

あなたの理想は根源的にはもっと深いところにあって、その理想を正しく捉えて、そこに「圧倒的な経済的豊かさ」を結びつけることが、自分自身を最高の理想領域まで連れて行くコツ。

人が根源的に願うことの多くは「お金がなくても叶ってしまう（お金ではない代替品で叶えられてしまう）」ものがほとんどなので、

「お金無くしては絶対に叶わない」形の強い願いを持たない限り、
脳はお金を求めて機能してくれません。

望みが「車」や「家」など物質的なものであっても同様で、それが「絶対に手に入れなくてはならない必然性がある物」でないと、脳も体も動いてくれないので。

世の経済的成功者を見渡してみると、そのほとんどが、

「根源的な望みを叶えたらお金がついてきた（お金が副産物）」か
「根源的な望みを叶えるために大金が必要だった（お金が前提）」

のいずれかで、

「ただお金が大好きでお金持ちになった！（お金そのものが目的）」

という人はごく稀です。

- ・会社員として地位を獲得した人（仕事に打ち込んだら昇進していた）
- ・一流スポーツ選手（その道一筋で年俸が上がった）
- ・いじめを見返したいと芸能人になった人（社会的地位や権威性）
- ・ビジネスそのものが好きな起業家（資本主義上のゲームを好む）

などは「お金が副産物」タイプ（理想のオマケとしてお金が入る）。

- ・動物愛護団体の運営のためにお金が必要だった
- ・都内の一等地に家を構えることが幼い頃からの夢だった
- ・幼少期貧乏暮らしで絶対に金持ちになりたかった

などは「お金が前提」タイプ（理想の前提としてお金が必要）です。

あなたの理想の未来はどうでしょうか？

たとえあなたが、

「私の理想の未来は大金がないと絶対に手に入らないんです！」

と思っている願いでも、「あの時計が欲しいけど今持ってるこの時計もいいよね」とか、「[退職して独立できたらいいけど今の職場待遇も悪くないよね](#)」とか、脳は色々と理由をつけながらあなたの思いもよらない方法で理想を満たしにくるので、

**「いややめろ！そんなことで補完されるなんて
まっぴらごめんだ！」**

と言い返せるように、未来に条件をつけていきましょう。

まずは理想の未来となり得る「根源的な願い」を見つけ、「それ以外はあり得ない」ほどに願い、条件を付与して他の選択肢で補完される可能性を潰すこと。

そして、

「根源的な願い」を「経済的豊かさ」と結びつけること。

これが大切です。

ちなみに、「根源的な願い」は一つである必要はありませんし、精神的なものでも物質的なものでも構いません。

大野の場合は、

- ・自分に合った村に移動すること
- ・世界の構造やこの世の理について熱く何日でも語れる仲間が欲しい

- ・会社ではない場所で会社員以上の収入を得たい
- ・自分の能力を伸ばしたい

などの願いを持っていました。

多くは無自覚でしたが、

**望みをハッキリと自覚して認め、
絶対手に入れると【決めた】あたりから、
行動や流れが大きく変わりました。**

ただ、必ずしも全ての願いを経済的豊かさと結びつける必要はなく、ものによっては「自分の力で手に入る」よりも「プレゼント」された方が嬉しいものもあるかと思います。

それぞれの願いや望みについて、「お金はあくまで道具でしかない」という前提を押さえた上で、「お金を介した方が良い望み」なのか、「介さなくても良い（介さない方がより良い）望み」なのか、一つずつ達成条件（ルール）を調整していくことが、幸福度を高めるコツです。



（どの条件で手に入れると一番幸せかな？）

ここを押さえておかないと、ものによっては「もっとシンプルに手に入るルート」があるのに自ら潰してしまったり、「願ったのとは異なる形で一時達成されてしまう」といった事態を招きかねません。

例えば、大学進学の学費一つとっても、「自分で稼いだお金で払う」ことにこだわる人もいれば、「親からの援助や奨学金を快く受け取る人」もいて、これは良し悪しではなく各々の価値観によります。

他にも、高級車一つとっても、「高級車に乗りたい」と望むのと、「高級車に長年乗り続けられるような自分」を望むのとでは返ってくる結果が変わりますし、「対象そのものが手に入ればいい」と望むのか、「お金を経由して手に入れたい」と条件を付与するのかによっても得られる結果が変わります。

「高級車に乗りたい」は期間を指定していないゆえ、「友人の車に乗せてもらった」や「車屋さんで試乗した」なんて代替で補完されてしまう可能性がありますが、「長年乗り続けられるような自分」は経済的豊かさの維持が必要になります。

「長年高級車に乗り続けられるような自分」を望むのでも、「対象（高級車）そのものが手に入ればいい」と望むのと、「お金を経由して手に入れたい」と望むのではまた返る結果が変わり、

「対象そのものが手に入ればいい」と望んだ場合は、
手段を限定していないため「懸賞で当たる」や「友人から譲ってもらう」など予想外の実現ルートが残されますが、

「お金を経由して手に入れたい」と願った場合と比較すると

「車は手に入ったけど生活は変わらないな（お金を介さずものだけを手に入れているので、収入は上がっていない）」となる可能性も含みます。

ただ単に「この車が好きでほしい！」というのであれば手段を指定せず望んだ方が手に入る可能性が広がりますが、もし豊かさの象徴として「高級車の所有」を望むのであれば、高級車は所有しているけど生活は人並み、という状況は「ちょっと思ったのと違うな、、、」となるはずです。

他にもわかりやすい例をあげると、「高級ホテルに宿泊したい！」「ブランド物を持ちたい！」といった類の願いもミスオーダーが発生しやすく、細かく条件指定しておかないと危険です。

知り合いの結婚式に呼ばれる形で叶ってしまったり、祖父母から古いブランドバッグが回ってきたり、、、と思いもよらぬ形で（気付かぬうちに）補完されてしまうことがあるので気をつけてくださいね。

改めて、

- ・ほとんどの人は「お金のため」を直接的な目的として行動するのは困難で、行動できても生活を維持できるレベル程度の行動しかできない
- ・今稼ぐための行動が思ったようにできていない人、望む成果を得られていない人は、自分の動機（根源的な願い）を見誤っている可能性がある
- ・たとえ今動けていなくても、正しい根源的な願いを知り動機とすれば何を特別なことをせずとも自然と日々行動できる

・我々が望む共通目標、「経済的豊かさ」を手に入れるためには、「根源的な願い」に条件を付与して「圧倒的成果を通してのみ手に入る形」に意図的に調整する

ということをお伝えしてきました。

私がお伝えする【未来の決め方】をまとめると、

1. お金より深いあなたの「根源的願い（理想の未来）」を見つけ
2. 「これ以外は受け入れられない」「これ以外の未来が存在するこ
とさえ許せない」というレベルまで願いを叶える必然性を高め
3. 「圧倒的な経済的豊かさ」と結びつくように条件を付与し
4. 圧倒的成果以外の方法で達成される可能性を潰し
5. その未来を「決定事項」として逆算的に今することを割り出し
6. 理想のためなら嫌いな行動すらできるあなたに作り変える方法

です。

- 「お金を稼ぐ」
- 「豊かに暮らす」
- 「自由な時間を持つ」

といったことを望む場合、そういった

「大義名分そのもの」を目指すのではなく、
あなたが喉から手が出るほど欲しい「何か」と結びつけて、

「それが達成できない未来は耐えられない」レベルで渴望しましょう。

欠乏感を高めた上で、お金ではない何かで補完されないように、細かく条件を指定することで調整してみてくださいね。

大野が、

「お金を望んでいるのにお金ではない形で願いが補完されてしまう」

「違った形で望みが中途半端に叶う」

ループから抜け出せたのは、特別講義の時に、

「松岡先生の隣に行く」という

【経済的豊かさがないと維持できない】理想

に偶然出会ったからですが、もし私の願いが、

「松岡先生についていく」

「松岡先生の傍に行く」

「松岡先生にお近づきになる」

といった弱いものだったら、I.G.Uに所属した時点で望みは達成されて今の私はなかったと思います。

願いが「月収100万円を稼ぐ！」なのであれば、

なぜ99万円でも101万円でもなく100万円なのか？

「私も松岡先生の隣に行きます！」なのであれば、

その理由は何で、どうしてそれ以外の未来が受け入れられなくて、

それは本当に「あなたが喉から手が出るほど渴望しているもの」なのか？

ちょっと手間に感じられるかもしれません、こうして一つずつ丁寧に紐解いていくことが大切です。

何せ人間は怠惰な生き物なので、

**リアルさと臨場感をもって語ることができない願いは、
脳も体も面倒くさがって叶えるためには動いてくれません。**

大野が自身の経験も交えながらお伝えした、「圧倒的な経済的豊かさ」を掴むことに特化した「未来の決め方」。

はじめはピンと来なくても、何度も何度もこのレポートを読み込んでいくことで「はっ！」と胎落ちする瞬間がくるので、自分のものにして役立てていただけたら嬉しいです(^^)

今回は一番のキモとなる部分を噛み砕いてお伝えしましたが、ここでお伝えした内容以外にも、

- ・根源的な願いである「理想の未来」を強制的に「圧倒的な経済的豊かさ」と結びつける具体的なやり方（あなたの願いを「お金が前提」もしくは「お金が副産物」になる形に調整して脳に「これ以外は受け入れられない」と思い込ませます）

や、

・自分の過去の成功パターンから共通の条件を見つけ、理想の未来までの最短ルートを見出す方法（誰しも必ず独自の成功パターンを持っていて、スロットのように一つずつ揃えることで最小の努力で願望を達成できます。大野の成功ルートへの乗車条件を一部こっそりお伝えすると、「信頼」「笑顔」「欠員」です）

・あなたの頭の中の検索エンジンを使いこなす方法（あなたが何をしていようが、あなたの脳があなたの理想実現のために最適なルートを自動検索してくれます（私は親しみを込めて自分の脳の一部をGoogleならぬ「おおのgle」と読んでいます(^^)笑））

・「こうあるべき」や「この方がいい気がする」から抜け出す方法（「すべき」視点に捕らわれているうちは成功できません。自己特性にピッタリ合った「私はこれがベストだ」という姿を定めると行動選択に迷いがなくなります）

など、お伝えしたかった内容がたくさんあります。

ですが、人が一度に消化できる情報には限界があるもの。

今後もタイミングをみながら、大野が持てる全てを駆使して様々なノウハウや情報をシェアしていきたいと思っているので、楽しみにお待ちいただけたら嬉しいです(^^)

これからも、同じI.G.Uに所属する仲間でありながら、サポートを担う先輩メンバーとして、時に励まし、時に手を引き、ワクワク楽しみながら先導していきますので、引き続きよろしくお願ひいたします！(^^)

今回お届けしたレポートについて専用のアウトプットフォームをご用意したので、

- ・ワークに取り組んでみて気づいたことや学べたこと
- ・もっと知りたいこと、教えてほしいこと
- ・本レポートへの感想
- ・大野に聞いてみたいこと

などなど、今のあなたのありのままの思いを教えてください。

【アウトプットフォーム】

<https://infopromotion.biz/p/r/c7nKAxsr>

今後、ご要望が多ければ、引き続き大野からのコンテンツをお届けしたいと思っています。

アウトプットの内容を元にメンバーの実情に合わせた内容をお届けしたいと考えているので、ぜひお気軽にお送りください(^^)

大野が一つ一つ大切に確認させていただきます。

このレポートがあなたの励みになり、飛躍の助けになることを心から願っています。

I.G.Uサポートメンバー 大野より

追伸：

『未来を決めることができが成功の核だ』、なんてスピリチュアル的大がかりに聞こえたメンバーもいらっしゃるかもしれません、これはコン

ピューターが入力されたプロンプトに忠実にプログラムを実行する様に似ています。



AIがプロンプトに忠実に答えを導き出すように、プロンプトさえ適切に入力すれば、人間の脳もそれ以外の未来を見なくなります。

反対に、どんなに願っていても、プロンプトを適切に入力できなければ（脳に適切な指示ができなければ）体は動いてくれません。

アウトプットも継続できなかった大野が成功できたのは、「決めた未来」をブレずに持ち続けることができたからです。

「できたこと」というのがポイントで、「これしかできなかった」とも言えます。

今あなたが「何もできていない」と感じて悩んでいたとしても、『自分の未来を自分で決める』ことができれば、大逆転は十分可能です。

私は「未来を決める」以上に簡単な人生攻略法はないと思っていて、「何かを成したい」と思ったときにはまず、行動よりも先に「そうでなくてはならない必然性」と「その未来以外受け入れられない」領域まで思考をガチガチに固めるようにしています。

思考を固めている期間は、傍から見るとただぼーっとして何もしていな
いように見えるので（爆）不審がられます、この方法が一番最短最速
で理想に近づける。そう確信しています。

思考が固まった頃にはもの凄いスピードで目的地に向かって世界が動き
始めるので、ぜひこのびっくり感やワクワクをあなたにも味わってほし
です。

おまけ：

対談動画の「先生に会いに行くと決めた」ことについて、「それ以外の
選択肢がなかったと話していましたが、なぜですか？」とご質問をいた
だきました。

この機会にお答えすると、大野はお役立ち音声でミラーニューロンの話
を聞いた時に「これだ！」と思い、『会える機会があったらすべて会い
に行く！』と即決しました。

当時の心境を言葉にするなら、

「私は人一倍の努力をしても人並にできるまで時間がかかるから、ミ
ラーニューロン効果に最大限期待して成功までの距離を縮めよう」

「私の最優先事項は、何よりも先生方との接触時間を増やすことだ！だから、先生をはじめ、先輩メンバーと時間を共有できる機会は逃さない
ようにしよう」

「距離は近いほどいいから、会えるチャンスは全て掴んで、勉強会は一番前の席に座ろう！」

といった感じです。

この決め方をしておくと、以降の自分からそれ以外の選択肢、この場合なら「会えるのに行かない」という選択肢が消滅し、よっぽどのことがない限り脳が「YES」の形で自動実行してくれるのでオススメです(^^)

自分の将来の行動を予め【決める】ことを徹底しておくと、

**意識的には何も考えていないのに、
脳が勝手に最適な行動選択をしてくれる状態**



になるばかりか、チャンスを逃すことがなくなります。

まさに、成功者がよく言う

「何で成功したのかわからない。気がついたらここにいた」

というやつです。この状態を作り出せたらもう、完全にイージーモードです！(^^)

何をしたら良いかわからないほどに悩んでいる時は、気持ちが急いでなかなか落ち着いて思考できないかもしれません、そんな時ほどこのレポートを参考に、自分の理想や願いの棚卸しをして、目的地の設定を最適化してあげてください。

そうすれば、あとはあなたの脳が勝手に頑張ってくれて、その感覚はとても心強く力強いものなので、どうか安心して取り組んでもらえたらと思います。

行動したいのに寝てしまう大野が理想達成できた方法なので、効果は保証します！

信じられないかもしれません、本当にびっくりするくらいよく効く方法なので、あなたの理想実現に役立てていただけたら嬉しいです(^^)

サポート講師としてずっとメンバーのがんばりを見てきたので、今回このような機会をいただくことができて、本当に嬉しく思っています。

ありがとうございました！